

ThreePro Group

- 2010年10月期 第2四半期決算説明資料 -
2010年6月14日(月) 日本証券アナリスト協会会議室

2010年10月期第2四半期 業績報告

(単位：百万円)

09/10期
2Q実績

売上高

5,430

売上原価

4,225

販売管理費

1,181

営業利益

23

経常利益

36

当期純利益

△224

10/10期
2Q実績

増減率

5,757

6.0%

4,322

2.3%

1,271

7.6%

163

608.7%

167

365.1%

119

—

プラス要因

- ✓ (株)アビバのグループ化により売上増加
- ※アビバは4月の1ヵ月分のみ業績寄与
- ✓ 営業・販売支援サービスが順調に拡大
- ✓ 営業・経常利益の大幅改善

マイナス要因

- ✓ 取引先の情報投資の凍結・コスト削減要請
- ✓ アビバのグループ化によるのれんの発生

(単位：百万円)

09/10期
2Q実績

10/10期
2Q当初予想

10/10期
2Q実績

増減率
(前期比)

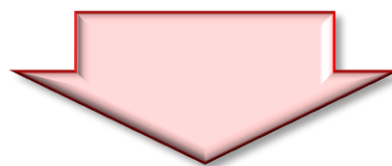
売上高

5,430

5,700

5,757

6.0%



- ✓(株)アビバのグループ化により、売上高5億4千万円増
- ✓IT支援サービス事業売上高では苦戦

(単位：百万円)

09/10期
2Q実績10/10期
2Q予想10/10期
2Q実績増減率
(前期比)

売上原価

4,225

4,480

4,322

2.3%

販売管理費

1,181

1,202

1,271

7.6%



✓売上原価率は前年同期比2.7 %改善

✓販管費率はアビバのグループ化により前年同期比
0.4%増加

(単位：百万円)

09/10期
2Q実績10/10期
2Q予想10/10期
2Q実績増減率
(前期比)

営業利益

23

17

163

608.7
%

経常利益

36

23

167

365.1
%

当期純利益

△224

9

119

—



✓営業利益率2.8%、経常利益率2.9%

✓金融危機前の利益水準を確保

(株)アビバのグループ化について

アビバの会社概要

【会社名】 株式会社アビバ
【設 立】 平成13年（2001年）10月26日
【資本金】 250百万円（2009年4月現在）
【従業員数】 756名
（管理部門 42人 営業部門 714人）
【本 社】 名古屋市

【事業内容】
・ パソコン教室の運営
・ 法人向け研修の提供
・ フランチャイズ教室の展開・運営

【役員構成】

代表取締役社長	田中 良一
取締役FC統括本部長	森元 豊（旧アビバジャパンからのプロパー）
取締役	高野 研（グループ代表）
取締役	貞方 渉（グループ執行役員）
監査役	田中 敏博（内部監査室長）

代表取締役社長 田中 良一

1981年	(株)ベネッセホールディングス入社
1990年	Berlitz International, Inc副社長
2004年	(株)ベルリッツジャパン 代表取締役
2005年	(株)アビバ取締役副社長
2010年1月	当社取締役就任
2010年3月	(株)アビバ代表取締役社長（現任） 当社取締役常務執行役員就任（現任）

■1979年

(株)名教として設立。当初は成績管理用ソフト開発会社としてスタート

■1981年

パソコンスクール事業へ進出

■1996年

会社名を(株)アビバジャパン、教室名をアビバと改名

タレントを起用したCMに加えて、教育訓練給付金制度の導入により業績が急拡大

■2003年

教育訓練給付金制度の見直しを境に受講者数が大幅に減少

財務運営に支障をきたし業績拡大に陰り

■2005年

1月に産業再生機構が支援を決定

同年4月にベネッセが出資する譲受会社の(株)アビバへと営業の全てを譲渡し、

(株)アビバジャパンは清算

■2010年

3月に(株)ベネッセ・ホールディングスがアビバ全株式をスリープログループ(株)に譲渡

アビバ
ジャパン

ベネッセ
子会社

スリープロ
グループ化

1. パソコン教室運営



現在のコアビジネスとして、駅前やショッピングセンター内など日本全国の一等地に117校展開。

Excel・Word・PowerPoint・資格や実務力まで幅広く養成

2. 法人向け研修の提供



ITリテラシー強化による生産性向上、EQの向上を狙った組織への行動特性検査など、基本的なビジネス研修をカスタマイズの上で提供

3. フランチャイズ教室の展開・運営



「アビバキッズ」ブランドにて小学生・中学生・高校生向けのパソコン教育を提供

在宅型の教室として全国300教室展開

パソコン教室業界大手、全国117校展開
小中高から社会人、法人研修も提供

【拠点】



- ・直営校（アビバ）・・・117校
- ・フランチャイズ校（アビバキッズ・アットホーム）
・・・300教室



- マイクロソフト認定資格（MOS／MCAS）
年間受験者数 3年連続NO1!!
- パソコン教室数は全国117校(日本最大規模)
小中高向けパソコン教室は全国300教室展開

アビバの財務・業績の推移

(株)アビバジャパン

最盛期には全国に330校を展開、約5万4千人の生徒が在籍、有名タレントを起用したテレビCMを連発していた。

[2003年12月期]

【損益(単位:百万円)】

売上高	20,694
営業利益	△1,674

2005年4月より
(株)ベネッセホールディングス
グループへ

- ・2003年5月の教育訓練給付金制度の見直しによる新規受講者数の減少をきっかけに債務超過

ベネッセ子会社期

事業の整理を実行。営業権償却費用により長く赤字計上が続いた。

[2009年3月期]

【資産(単位:百万円)】

総資産	1,754
純資産	△6,844

【損益(単位:百万円)】

売上高	8,168
営業利益	248

事業の整理
採算の見直し利益体質化

- ・積極的な教室のリストラを実施し、採算性の低い教室を整理
- ・ベネッセの債権放棄により無借金経営に

スリープログループイン前

金利負担・のれん償却費負担を一掃、本来の収益性を取り戻す。

[2010年3月期]

【資産(単位:百万円)】

総資産	2,369
純資産	△1,182

【損益(単位:百万円)】

売上高	6,100
営業利益	287

アビバの利益5ヵ年推移

アビバジャパン

ベネッセ子会社

スリープロ
グループ化

単位:百万円	03年 12月期	06年 3月期	07年 3月期	08年 3月期	09年 3月期	10年 3月期
売上高	20,694	13,441	10,334	9,693	8,168	6,100
営業利益	-1,674	-1,410	-1,177	-665	248	287
EBITDA	-	425	638	1,181	742	410

直営教室数	330	208	183	162	156	117
社員数	1,567	1,370	1,137	1,015	883	756

今後の展開

2010年10月期 連結業績予想

(従来セグメント)	09/10期通期実績		10/10期通期(期初)予想		(増減)	増減率
売上高	10,028	(売上比)	10,500	(売上比)	472	4.7%
営業・販売支援サービス	3,139	31.3%	3,330	31.7%	191	6.1%
導入・設置・交換支援サービス	2,818	28.1%	2,966	28.2%	148	5.3%
運用支援サービス	3,710	37.0%	3,912	37.3%	202	5.4%
学習支援サービス	361	3.6%	292	2.8%	△69	△19.1%



(新セグメント)	09/10期通期実績		10/10期通期予想(修正後)		増減	増減率
売上高	10,028	(売上比)	13,000	(売上比)	2,972	29.6%
IT支援サービス事業	—	—	9,560	—	—	—
営業・販売支援サービス	3,139	31.3%	3,378	26.0%	239	7.6%
導入・設置・交換支援サービス	2,818	28.1%	2,515	19.3%	△ 303	△ 10.8%
運用支援サービス	3,710	37.0%	3,667	28.2%	△ 43	△ 1.2%
教育支援事業	—	—	3,440	26.5%	—	—
売上総利益	2,230	22.2%	2,373	18.3%	143	6.4%
販売管理費	2,220	22.1%	2,273	17.5%	53	2.4%
営業利益	10	0.1%	100	0.8%	90	900.0%
経常利益	35	0.3%	130	1.0%	95	271.4%
当期純利益	△ 493	△ 4.9%	50	0.4%	543	—

グループ体制及び セグメント変更に関して

従来のスリープログループの組織体制

2010年4月時点
グループ全16社

持株会社

スリープロ
グループ(株)

THREE PRO
Prominent Provision Provider GROUP

買う

営業・販売支援サービス

スリープロマーケティング
スリープロコミュニケーションズ
スリープロエージェンシー

始める

導入・設置・交換支援サービス

スリープロネットワークス
スリープロフィッツ

使う

運用支援サービス

JPSS スリープロテクノロジー
コラソン キャリアインパルス
ウィザード 日本アシスト
アシスタンストラベルジャパン

楽しむ

学習支援サービス

ホーム・コンピューティング・ネットワーク
アビバ

広げる

三井物産

スリープロ

グループ全16社から11社へ

持株会社

スリープロ
グループ(株)



教育支援事業

アビバ

その他

スリープロ
エージェンシー

スリープロ
ネットワークス

IT支援サービス事業

営業・販売支援サービス

スリープロマーケティング
スリープロコミュニケーションズ

導入・設置・交換支援サービス

スリープロフィッツ

運用支援サービス

JPSS
スリープロビズ
スリープロウィズテック

IT支援地域展開統括

スリープロ

従来のサービス提供イメージ

取引先企業

一般個人

買う

始める

支援

使う

楽しむ

営業・販売
支援

導入・設置
・交換支援

運用
支援

学習
支援

広げる

市場創造サポーター



新しいサービス提供イメージ

教育支援サービス事業



小・中・高のパソコン教室

AVIVAKIDS

市場創造

IT支援サービス事業



個人向け
教育支援
(BtoC中心)

法人向け
ビジネス支援
(BtoBtoB,
BtoBtoC中心)

**教育ビジネスとITサービスが
一体となった「市場創造サポーター」**

教育支援事業

Support of education

教育支援サービス事業の業績予想

(単位：百万円)

10/10期2Q実績

10/10期業績予想

売 上 高

677

3,440

売上総利益

278

1,000

営 業 利 益

60

129

業績予想のポイント

- ・ 下期はアビバの業績6ヶ月分取り込み
※ 2Qは4月の1ヵ月分のみ業績寄与、通期では7か月分
- ・ 来期に向けた投資のため利益は保守的な予想
- ・ シニア向けPC教室「ホームコンじゅく」は横ばい

1. グループ融合施策

- ・IT支援事業の優良クライアントとのタイアップや協業の推進
- ・全国規模の拠点網にてシニア層の生涯学習ニーズの取り込み
- ・「ホームこんじゅく」と「アビバ」の統合による固定費削減

2. 資格取得サービスの展開

- ・昨年より提携を行う大栄総合教育システム社の資格コンテンツ（「司法書士」「簿記」「医療事務」等）提供をアビバ直営校に対して79校まで拡大しサービス強化

3. 公的職業訓練の取り込み

- ・政府の緊急人材育成・就職支援基金による職業訓練委託業務を認定拠点に100校超にて開始

2つの分野を起点に 総合教育・資格ブランドの確立へ

法人向け
研修事業

一般個人向け
教育事業

既存のパソコン教室事業の枠組に捉われず、教育機関と積極的に連携し資格学習コンテンツの提供や専門技術者の育成等、様々な世代・組織に向けたサービスを提供

IT支援サービス事業

Information Technology Supporting

(注) 決算短信等の財務諸表においてはIT支援事業を「BPO事業」と表記しております。

IT支援サービス事業概要

営業・販売支援サービス

製品・サービスの
プロモーション



110,000人の
エージェントによる
日本全国へのサービス提供

導入・設置・交換支援サービス



IT機器の導入・保守
電気・通信回線工事

運用支援サービス



コールセンター
・人材サービスの
提供、システム開
発支援など

IT支援サービス事業の業績予想

(単位：百万円)

10/10期2Q実績

10/10期業績予想

売 上 高

5,084

9,560

売上総利益

1,195

2,291

営 業 利 益

505

871

業績予想のポイント

- ・売上高は景気動向から依然として苦戦
- ・売上原価の徹底見直しから売上総利益は徐々に改善傾向
- ・スマートフォン・地デジなど新分野の引き合いが増加傾向

IT支援サービス事業 各サービスの業績

単位：百万円

IT支援サービス事業		2009年10月期 第2四半期実績	2010年10月期 第2四半期実績	増減比	2010年10月期 通期予想	進捗率
営業・販売 支援サービス	売 上 高	1,625	1,813	11.6%	3,378	53.7%
	売上総利益	323	387	19.8%	740	52.3%
	売上総利益率	19.8%	21.3%	—	21.9%	—
導入・設置交換 支援サービス	売 上 高	1,583	1,488	-6.0%	2,515	59.2%
	売上総利益	407	416	2.2%	756	55.0%
	売上総利益率	25.6%	28.0%	—	30.1%	—
運用支援 サービス	売 上 高	2,058	1,781	-13.5%	3,667	48.6%
	売上総利益	373	358	-4.0%	761	47.0%
	売上総利益率	18.1%	20.1%	—	20.8%	—

営業販売支援サービスのポイント

- ・関西・東北地域における積極展開により、通信キャリア商材を主とした成果報酬型サービスでの売上高が前年より大きく増加
- ・売上原価の徹底した見直しから売上総利益率が改善傾向

導入・設置・交換支援サービスのポイント

- ・企業各社における設備投資への慎重な判断からシステム展開時期の延期や計画見直し・内製化による売上高減
- ・通信建設業界の大手各社において携帯電話基地局工事など受注が拡大傾向
- ・売上原価の徹底した見直しから売上総利益が改善傾向

運用支援サービスのポイント

- ・景気悪化に伴い、支援先における人員縮小等により全体として依然低調
- ・アウトソーシングへのニーズの高まりから、営業受注促進のアポイント獲得やアンケート集計等の電話発信業務の受注が拡大
- ・人材募集費用の削減など、総利益率は改善傾向

1. 各サービス横断クライアント強化

- ・ トップ20クライアントの中で、すべてのIT支援サービス提供会社を増やす
- ・ 複合サービスおよび独自サービスの開発による付加価値化

2. 派遣からBPOサービスへ

- ・ 派遣法改正を見越し、派遣モデルを委託に切り替えることによって機会損失を回避
- ・ 複合サービスの追求による、単一のアウトソーシングからBPOサービスの確立を目指す

外部環境と重点施策等

国内の景気や個人消費動向は依然として低調

⇒雇用環境も深刻な影響を受け、非正規労働者の雇用環境改善には暫く時間がかかる見通し



➤ 企業視点の「採用支援」から働く人視点の「雇用支援」へ

11万名のエージェントに教育支援サービス事業を通じたキャリアアップの機会を提供し、雇用の創造へとつなげる

➤ 政府雇用対策の支援を通じた「雇用支援」へ

政府の緊急人材育成支援事業による非正規労働者や長期失業者など職業訓練の実施など、雇用情勢に併せた公共からの委託業務の需要取り込み

➤ 生産性向上のために、教育支援サービスとIT支援サービスが一体となった事業展開

グループの事業基盤を効率的に運用するための整備を図る



市場創造サポーター

成長分野の企業との連携やビジネス支援により、新たな市場創造を推進

雇用創造サポーター

日本最大規模のキャリア教育ネットワークの構築

日本最大規模の教育拠点を持つ
ビジネスサポーターへ

さまざまな属性のUSER



スリープログループ取引企業



IT支援サービスの提供

買う

始める

使う

集客

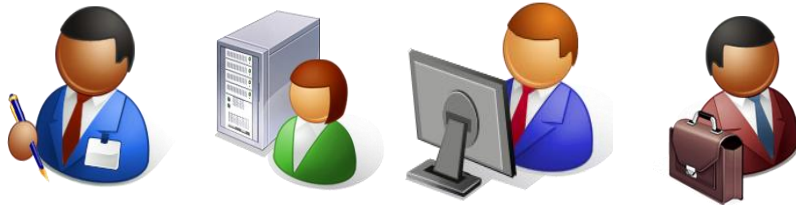


小・中・高のパソコン教室
AVIVAKIDS



新たな雇用の創造

スリープログループ取引企業



雇用創造

IT支援サービス事業

買う

始める

使う

高付加価値人材

AVIVA
アビバ

小・中・高のパソコン教室

AVIVAKIDS



受講生・卒業生



教育支援サービス事業 + IT支援サービス事業

一体となって市場を創造し
雇用を産み出すことによって
NEXT300 を実現する

- ◆本資料もしくは口頭による説明において、歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しです。これらは、現在入手可能な情報を基にスリープログループ株式会社が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
- ◆本資料は、株主・投資家等の皆様にスリープログループ株式会社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、利用者に対して、当社の株式の購入、売却等、投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。
- ◆情報・資料の掲載には注意を払っておりますが、掲載された情報の内容またはその誤りについては保証するものではありませんので、ご了承ください。

◆連絡先

スリープログループ株式会社 広報 I R担当 < ir@threepro.co.jp >
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル
Phone : 03-6832-3260 Fax : 03-6832-3269

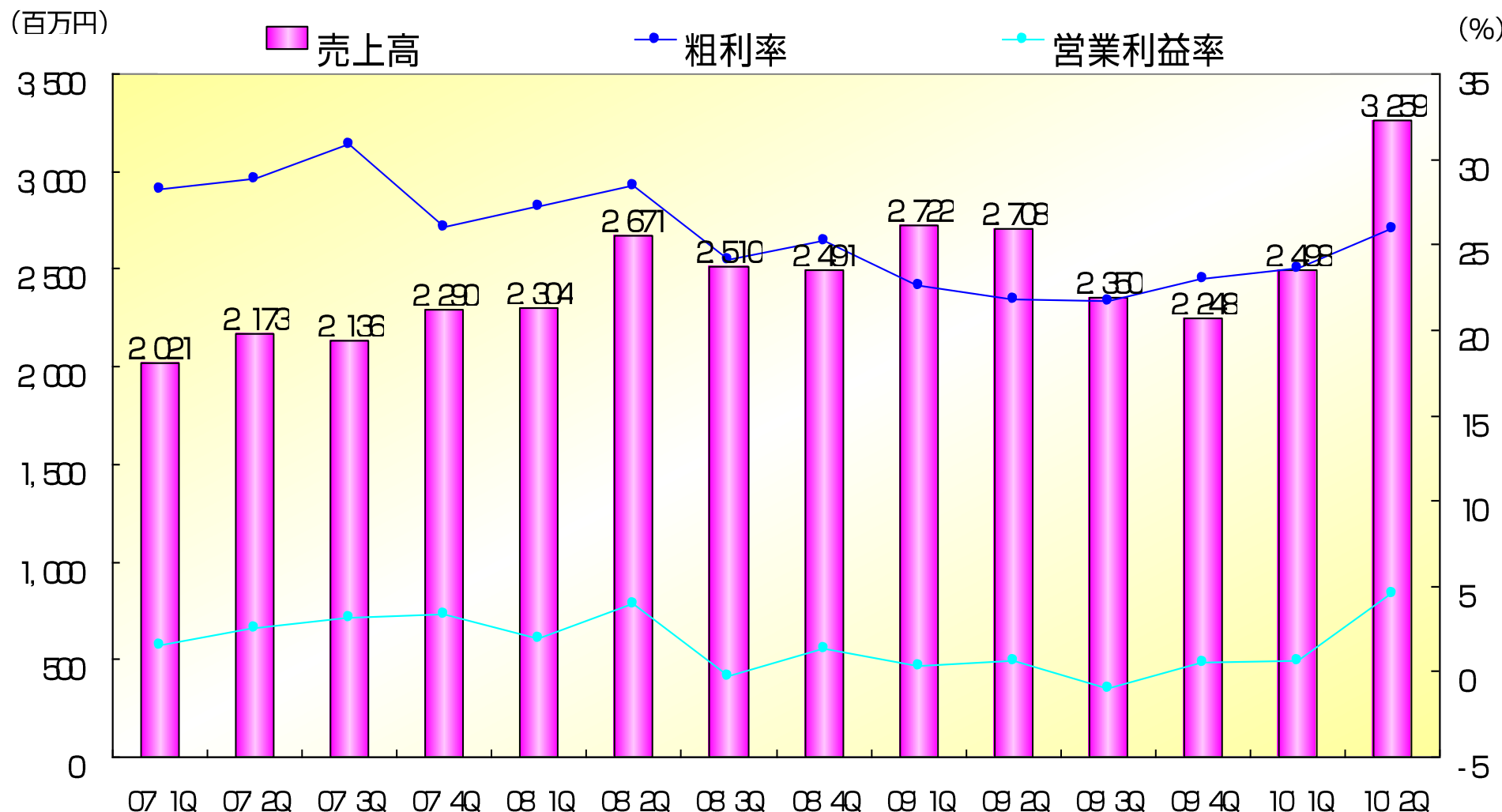
參考資料

業績の推移 (03/10期～09/10期)

(単位 ; 百万円)	03/10期	04/10期	05/10期	06/10期	07/10期	08/10期	09/10期
売上高	2,349	2,830	5,080	6,273	8,619	10,855	10,028
売上総利益	972	921	1,340	1,678	2,455	2,774	2,230
販売管理費	808	770	1,310	1,614	2,220	2,581	2,220
営業利益	164	150	30	64	234	192	10
経常利益	141	146	37	58	218	228	35
当期純利益	116	▲47	▲54	19	138	82	▲493
EPS (円)	128.39	▲34.65	▲35.58	1,013.03	7,266.52	4,795.40	▲25,712
純資産額 (千円)	889,368	799,580	1,090,628	1,441,624	1,645,212	1,613,982	986,440
総資産額 (千円)	1,310,775	1,712,061	2,586,163	3,335,020	3,500,434	4,324,895	4,009,528
自己資本比率 (%)	67.9%	46.7%	42.2%	43.2%	47.0%	37.3%	24.6%
発行済株式総数 (株)	1,280,000	1,380,000	1,643,286	18,907.65	19,170.65	19,174.65	19,174.65
従業員数 (人)	105	147	235	260	283	342	279

- (注) 1, 03/10期以前は連結対象子会社がありませんので、スリープロ単体の数値であります
 2, 従業員数は契約社員等を含みます。また、04/10期以降はグループ従業員総数であります
 3, EPSに関して、当社は06年4月に100株を1株へ株式併合を行っております

四半期業績推移



※2008年10月期第4四半期は4カ月間の実績にて開示しておりますが業績比較を容易にするため、8-10月の3ヶ月間のデータを用いております。

教育支援事業 教室数

2010年4月1日現在

■直営校	117校
■フランチャイズ教室	435教室

【ブランド別教室数】

アビバ	・・・117校
アビバキッズ・アットホーム	・・・300教室
ホームコンじゅく	・・・135教室



IT支援サービス事業 登録エージェント推移

2010年4月1日現在



役員構成



取締役ファウンダー 竹中 正雄

1959年 (株)小松製作所入社
1977年 (株)シーサンディ(現当社)設立
1989年 (株)印刷アド 代表取締役社長(現任)



代表取締役兼グループCEO 高野 研

1975年5月17日生まれの35歳。
石川県金沢市生まれ、神戸市育ち。
1996年に創業、2003年11月には当時創業社長としては最年少で株式上場を果たす。現在グループ17社を経営。



取締役 常務執行役員 田中 良一

1981年 (株)ベネッセホールディングス入社
1990年 Berlitz International, Inc. 副社長
2004年 (株)ベルリッツジャパン 代表取締役
2010年 (株)アビバ代表取締役社長(現任)



取締役 常務執行役員 水口 雄

1976年 (株)ダイワスポーツ入社
1996年 (株)クロス・オブ・ジャパン入社
1999年 マースジャパン入社



取締役 久保 裕

1993年 (株)三菱総合研究所入社
2001年 (株)ゲームオン設立 代表取締役就任
2002年 (株)フルキャスト入社
2009年 日本プロセス(株)取締役就任



取締役 梅村 正義

1983年 (株)リクルート入社
1995年 同社HRM室 主任研究員
1999年 (株)イブセ設立 代表取締役就任



取締役 田嶋 雅美

1996年 (株)フランチャイズアドバンテージ設立、
代表取締役就任(現任)
1999年 当社取締役就任



取締役 出張 勝也

1984年 一橋大学法学部卒業
1987年 ハーバード大学ビジネススクール卒業
1996年 (株)オデッセイコミュニケーションズ設立、
代表取締役社長(現任)



監査役 木村 公一

1962年 日商岩井(株)入社
1985年 (株)神戸製鋼所入社
1992年 高圧ガス保安協会入社



監査役 佐久間 裕幸

1986年 監査法人中央会計事務所入社
1996年 公認会計士・税理士佐久間裕幸事務所開設



監査役 五十嵐 幹也

1968年 富士法律・特許・会計事務所開設
1998年 学校法人サンモール
インターナショナルスクール幹事



監査役 太原 正裕

1983年 (株)東京都民銀行入社
1999年 (株)SBUマネジメント取締役
2007年 城西大学准教授

優待対象 : 10月末、4月末時点の株主名簿に記載された1株以上保有の株主様
ご優待内容 半期合計 : 23,000円相当 (期末・中間発行、年間46,000円相当)

【優待内容】

■Pチケット×5枚

- ・ 額面1,000円券を5枚
合計 5,000円相当
- ・ 複数枚同時利用可能
- ・ 第三者への譲渡可能

■レスキューミー！聞きホーダイチケット

- ・ 18,000円相当のサービス内容
- ・ パソコン・IT機器に関するトラブルを
電話にて親切・丁寧サポートします。



パソコン教室、資格取得スクール、デジタル家電の購入などグループ・取引先の様々なサービスに対して利用が可能になっております。事業提携・営業の促進としてはもちろんのこと、当社のサービス認知向上モデルとして推進中です。

株式情報（大株主の状況及び株式の状況）

（2009年4月30日現在）

（2009年10月31日現在）

（2010年4月30日現在）

	株主名	保有株数 (株)	保有比率 (%)
1	高野 研	3,019	15.75
2	日本コムシス株式会社	1,200	6.26
3	株式会社大塚商会	1,200	6.26
4	竹中 正雄	1,100	5.74
5	スリープログループ従業員持株会	1,098	5.73
6	株式会社東電通	600	3.13
7	株式会社ケイ・エム・インベストメント	570	2.97
8	加賀ハイテック株式会社	466	2.43
9	セレブリンクス・ホールディングス株式会社	317	1.65
10	加賀電子株式会社	304	1.59

	株主名	保有株数 (株)	保有比率 (%)
1	高野 研	4,450	23.21
2	スリープログループ従業員持株会	1,337	6.97
3	日本コムシス株式会社	1,200	6.26
4	株式会社大塚商会	1,200	6.26
5	竹中 正雄	1,100	5.74
6	株式会社東電通	600	3.13
7	加賀ハイテック株式会社	466	2.43
8	株式会社ジョブシックス	426	2.22
9	セレブリンクス・ホールディングス株式会社	317	1.65
10	加賀電子株式会社	304	1.59

	株主名	保有株数 (株)	保有比率 (%)
1	高野 研	4,450	23.21
2	コロンブス (TPG従業員持株会)	1,577	8.22
3	日本コムシス株式会社	1,500	7.82
4	株式会社大塚商会	1,200	6.26
5	竹中 正雄	1,100	5.74
6	株式会社東電通	600	3.13
7	加賀ハイテック株式会社	466	2.43
8	大森 慎也	397	2.07
9	株式会社廣済堂	317	1.65
10	加賀電子株式会社	304	1.59

※自己株式数 09年10期第2四半期末:3,978株

※自己株式数 09年10期末:2,120株

※自己株式数 10年10期第2四半期末:1,820株

発行可能株式総数：65,000株 証券コード：2375

発行済株式総数：19,174株 上場証券取引所：東京証券取引所 マザーズ市場

一単元の株式の数：1株 決算期：10月31日

株主数：689名 定時株主総会：1月

配当金受領株主確定日：利益配当金 10月31日

中間配当金 4月30日

株主名簿管理人：大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同取扱場所：東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

同取次所：住友信託銀行株式会社 全国各支店